

新たな議会構成が決定！

1月30日に令和5年1月臨時会が開催され、議長および副議長選挙の結果、議長に山下修議員、副議長に赤堀博議員が就任しました。また、常任委員会や議会運営委員会などの委員も新たに選任され、新しい議会構成となりましたので紹介します。



副議長
赤堀 博

就任のご挨拶

議長
山下 修



市民の皆さまには、日頃より市議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたびの臨時会におきまして、副議長に就任させていただき、誠に身に余る光栄であり、心より感謝いたしますとともに、責務の重大さに身の引き締まる思いであります。微力ではありますが、さらなる市政の発展と市民生活の向上、また、公正かつ円滑な議会運営のため、全力で職責を果たす覚悟を持って、誠心誠意努めてまいります。

さて、今なお世界中の人々の暮らしに影響を与えている新型コロナウイルス感染症が日本国内で確認されてから、丸3年が経ち、なお厳しい感染状況となっております。

また、昨年2月からのロシアによるウクライナ軍事侵攻は、長期化により世界の経済、日本国内においてあらゆる面で悪影響を及ぼしております。このような状況においても、市民の皆さまが安心・安全に、そして幸せに暮らせるよう菊川市議会として課題解決に取り組んでまいります。今後とも市議会に対し、さらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

市民の皆さまには、日頃より議会の活動に対して、ご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。このたび伝統ある菊川市議会議長に選任いただき、その職責の重大さを痛感しているところでございます。

市民生活や市内経済は、長引く新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻などの複合リスクによる諸物価の高騰により圧迫され厳しい状況を迎えております。また、少子高齢化が急速に進み総人口の減少が抑えられず、高齢者人口の大幅な増加による超高齢化社会に突入しています。福祉における介護・医療サービスの連携や地域防災力の強化支援など多様化する市民ニーズへの適切な対応が求められています。

自治体運営は、議決機関である議会と実際に行政を行う執行機関が、それぞれの権限を行使し、市民の皆さまの意見を市政に反映させ、福祉の向上を目指すものです。「住み続けたいくなるまち菊川市」を目指して、議会の活性化と円滑な議会運営に全力で取り組んでまいります。市民の皆さまのご指導とご支援を心よりお願い申し上げます、就任の挨拶とします。